

学年	高校2年	教科	保健体育	科目	保健	単位数	1
教科書名	現代高等保健体育			副教材名	現代高等保健体育ノート		
クラス・コース	全コース			担当者名	浅子 和廣・佐藤 祐輔・柴田 貴史		

I. 目標

私たちの心と体は、年齢とともに変化していく。ま健康のために私たちや社会がすべきことも、それとともに変化している。思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学ぶとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみやそれらの活用のしかたなどについて学ぶ。また、私たちを取り巻く自然環境やそれを良好に維持するしくみや、社会の制度・活動などが密接にかかわっている。それらと個人との努力が組み合わさってはじめて健康な生活が実現するのである。健康に関連する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係などについても学び、1年間の授業を通じて、生涯にわたり健康を保持増進していくための、知識と実戦力を身につけさせる。

保健体育の授業では、心身の発達や体力の向上を促すだけでなく、現在および将来にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、明るく健全で豊かな生活を営む態度を育成することを目標にしている。

II. 授業のねらい

生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることおよびわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。

社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。

III. 授業の進め方

教科書や参考資料（保健体育ノートやパワーポイントなど）を使って、実際の生活に置き換えて健康について考えながら授業をすすめる。

IV. 学習上の留意点

板書はノートまたはプリントに書き写すこと。また、後から見直して理解できるように色分けしたり、先生の説明を書き入れる等の工夫をすること。

V. 定期試験

1. 学期ごと定期考査を行う。
2. 出題内容は、教科書、授業での板書や配布プリントから出題する。
 - 1 学期 期末試験：心肺蘇生法～保健制度とその活用
 - 2 学期 期末試験：医療制度とその活用～食品衛生活動のしくみと働き
 - 3 学期 学年末試験：食品と環境の保健と私たち～健康的な職業生活

VI. 評価の方法

1. 評価は定期考査の結果と授業の取り組み（質問への姿勢・態度）ノートなどの提出物を評価、小テストなどを平常点で合わせて評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	【1 単元 現代社会と健康】 19. 交通事故の現状と要因	授業への 取り組み 板書ノ ート提出 1 学期期末 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・道路交通事故の状況を知り、具体的な事例をもとに、車両の特性、当事者の行動や規範を守る意識、周囲の環境などが関連していることを理解する。 ・交通事故を防止するためには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や車両の特性などを把握すること、個人の適切な行動が必要であることを理解する。 ・交通事故には責任や補償問題が生じることを理解する。 ・事故のない安全な社会づくりには、環境の整備が重要であり、特に交通事故を防止するには、法的な整備、施設設備の充実、車両の安全性の向上などの対策が必要であることを理解する。 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解する。 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の手順や方法があることを実習を通して理解する。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われ、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用が必要であることを理解する。 ・思春期における性的成熟にともない、心理面、行動面が変化することについて理解する。 ・自分が選択する性行動は、自分と相手の健康や人生にとり大切なことを理解する。 ・家族を築く出発点が結婚であることを理解する。 ・妊娠中の健康管理、公的サービスの活用も大切なことを理解する。 ・望まない妊娠は避けることを理解する。 ・加齢にともなう心身の変化を理解する。 ・保健行政のしくみや保健サービスについて理解する。
	5	20. 交通社会における運転者の資 質と責任 21. 安全な交通社会づくり		
	6	22. 応急手当の意義とその基本 23. 心肺蘇生法 24. 日常的な応急手当		
	7	【2 単元 生涯を通じる健康】 1. 思春期と健康 2. 性意識と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画と人工妊娠中絶 6. 加齢と健康 7. 高齢者のための社会的取 組み 8. 保健制度とその活用 (期末試験)		

一 学 期	9 10 11 12	9.医療制度とその活用 10. 医薬品と健康 11. さまざまな保健活動や対策 【3 単元 社会生活と健康】 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 健康被害の防止と環境対策 4. 環境衛生活動のしくみと働き 5. 食品衛生活動のしくみと働き (期末試験)	授業への 取り組み 副教材ノ ート提出 2 学期期末 試験 板書ノー ト提出	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の選択や適切な医療サービスの受け方について理解する。 ・医薬品を取り巻く行政、企業、医療関係者や消費者が役割と責任があることを理解する。 ・大気汚染や健康被害に対する意識を高める。 ・環境問題への関心と意識を高める。 ・環境汚染を防ぐためには、私たちの取り組みが欠かせないことを理解する。 ・食品の安全性の確保は食品安全基本法や食品衛生法などにもとづいて食品安全委員会が中心であることを理解する。
三 学 期	1 2 3	6. 食品と環境の保健と私たち 7. 働くことと健康 8. 労働災害と健康 9. 健康的な職業生活 (学年末試験)	授業への 取り組み 学 年 末 試 験 副教材ノ ート提出	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を汚染しないためには、食品を購入する際にも廃棄のことも考えて購入する必要があることを理解する。 ・働くことの意義について理解する。 ・働くことによって起こるけがや病気があること、それを防ぐために労働の場面では常に考慮する必要があることを理解する。 ・充実した職業生活を送るには、健康の保持増進をはかることを理解する。

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。